

Q12 友だちが発表をしているとき、突然発言します

【考えられる背景】

- 衝動をコントロールする力が弱いため、自分の頭に浮かんだことを、すぐに話し始めたり、行動に移す
- 周囲の状況を判断することが難しい
- 約束やマナーそのものを理解していない

【支援への手がかり】

☆ 具体的で分かりやすい指示の出し方をする

「これから〇〇について、話をします。『おわり』というまで、静かに聞きましょう。」
というように、具体的な言葉でどのようにしなければならないかを教え、最後まで聞くことができるように促していきます。

☆ 否定的な声かけより、肯定的な声かけをする

その場面で、どのようにしたら良いのか本人に分かるように注意をします。「静かにしなさい」と制止するのではなく、「〇〇さんの発表を最後まで聞きましょう。」というふうに肯定的な言い方で伝えましょう。また、それができたら評価をするようにしましょう。子どもに信頼される働きかけを心がけ、その時の気分で叱ったり褒めたりしないように心がけることが大切です。

☆ ルールを見えやすい場所に掲示する

「友だちが発表している時は、静かに聞く」などのルールを本人が目にしやすい場所に提示してみましょう。

☆ 発言する時や話を聞くときのルールを作る

聞くだけでは、本人もしんどくなるので、子どもにも話す場面を意識的に作っていきます。また、発言カードや挙手時のサインなど、発言回数や長さの約束を作ったり、具体的な目標をたてて、実践したときには、「よくできました」のシールをはったりして、目に見える形で評価をしてあげることが大切です。

☆ 過剰な反応を控える

担任や周りが反応することが、その行動の強化になっていることがあります。その場合には過剰に反応せず、周りの子どもが騒がないように対処することが大切です。

